

5月22日（金）、11名の参加者で、自然豊かな三浦市小網代の森へ出かけました。快晴、風弱く絶好の散策日和。

小網代の森は、本来はゴルフ場として開発される予定でしたが、保護団体等による運動の結果、県からの支援もあり、森、川、せせらぎ、干潟帯そして海（小網代湾）へと続く、関東地方唯一の自然生態系が連なる森として残されることになりました。植物はもとより、鳥、カニ、海藻などなど貴重な生物相の宝庫です。特に6～7月にかけてはアカテガニの産卵期に入り、懸命な生命活動がみられます。

散策当日は、森の中で大気中の水粒に太陽光が屈折し、ほぼ水平に見える光学現象である環水平アークや干潟では多くのチゴガニがはさみを上下に動かし必死の求愛ダンス、さらに樹木間をおおらかに舞う鳥たちの様も間近かに見られ、地球が私たちと一緒に、呼吸をしているかのようにも感じられました。

このような貴重な自然森が身近にあることを知るとともに、身体を動かすつつみなどで楽しいひと時を過ごしました。

ときには、野外に出て、自然に触れ合うことも大事な活動のひとつかと思いました。